

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：教育費 項：特別支援教育費 目：特別支援教育総務費

事業名 衛生設備費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 体育健康課 学校保健係 電話番号：058-272-1111(内8713)

E-mail : c17769@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

945 千円 (前年度予算額：

1,663 千円)

<財源内訳>

区分	事業費	財 源 内 訳						
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 入	寄 附 金	そ の 他	県 債
前年度	1,663	0	0	0	0	0	0	0
要求額	945	0	0	0	0	0	0	945
決定額								

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

児童生徒を感染症やむし歯等の疾患から守り、健全な発育・発達に資するため、手指消毒液及びフッ化物洗口に必要な試薬・コップ等を購入する。

(2) 事業内容

地域の中で、さらに質の高い教育を目指して一人一人の可能性を引き出す自立支援教育「新 子どもかがやきプラン」に掲げられた一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進

・平成6年度地方交付税に、M R S A (メチレン耐性黄色ブドウ球菌) 対策として、衛生設備費が計上された。

・平成7年度県立盲・聾・養護学校に自動手指消毒器を設置。

・障がいにより歯みがきが十分にできない児童がいるため、平成27年度からフッ化物洗口を導入した。

(3) 県負担・補助率の考え方

県立特別支援学校児童生徒の衛生管理については、学校設置者である県の負担が妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	945	自動手指洗浄機用消毒液、フッ化物洗口試薬、コップ
合計	945	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・学校保健安全法 第4条

学校の設置者は、その設置する学校の児童生徒及び職員の心身の健康の保持増進を図るため、当該学校の施設及び設備並びに管理運営体制の整備充実その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

・第4次岐阜県教育振興基本計画

施策III 「健やかな体」の育成

17 健康教育と食育の推進

18 これまでの経験を踏まえた感染症への対応の推進

事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

児童生徒の感染症及びむし歯予防として、手指消毒及びフッ化物洗口を継続して実施することで、児童生徒の健康管理・身体の健全な育成に寄与する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

感染症予防、むし歯予防については、総合的な予防対策が必要であり、消毒液やフッ化物洗口のみでは、その効果を図ることができないため。

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	学校保健講習会において、感染症対策として、登校後や給食前等において適切に手指の消毒を行うよう周知した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、「感染症対策衛生物品緊急整備事業費」等で、手指消毒等の対策を実施。
令和 5 年 度	特別支援学校養護教諭会議において、感染症予防対策として適切に手指の消毒を行うように指導をした。
令和 6 年 度	特別支援学校養護教諭会議において、感染症予防対策として適切に手指の消毒を行うように指導をした。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価) 2	児童生徒の健康管理のため、本事業はなくてはならないものである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)	
3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	毎日の手指消毒及び定期的なフッ化物洗口の実施により、児童生徒の健康管理・身体の健全な育成に寄与した。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)	
2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	実施にあたっては学校歯科医から、薬剤の管理については学校薬剤師からの指導を仰ぎ、効果的に事業を進めている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

現在のところ、特に問題は発生していないが、障がいによりうがいがうまくできない児童に対する指導を継続する。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
感染症の集団発生及びむし歯の予防に向けて、適切に事業を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	